

令和6年度 困難を抱える女性への支援関連事業について

1 新規事業

(1) 困難を抱える女性への支援を行う民間団体等支援補助事業（予算額：1,000千円）

- ①事業概要 困難を抱える女性へ向けた新たな支援や事業の拡大を検討しつつも、資金がないなどの課題を抱える民間団体等を補助するとともに、その効果検証を行うもの。
- ②対象事業 困難を抱える女性を支援する事業で、応募団体において新規の事業もしくは既存事業の拡大を図る事業
- ③対象団体 市内に活動場所を有する民間団体等
※その他、1年以上継続して活動しているなどの条件あり
- ④補助金額 1事業あたり上限50万円
- ⑤実施スケジュール 募集期間：5月13日（月）～6月14日（金）
審査会議：7月10日（水）
事業実施期間：交付決定日（7月中旬ごろ）～1月17日（金）
効果検証期間：1月下旬～2月下旬

2 継続事業（予算額計：13,719千円）

(1) つながりサポート型事業（予算額①+②+③+④：8,283千円）

①出張型相談事業（予算額：1,116千円）

困難を抱えながらも既存の相談窓口に通居の高さを感じるなどで出向くことをためらう方が、気軽に訪れ相談できる機会を設ける。

②レスパイト事業（予算額：1,015千円）

困難な状態にある女性を対象として、次のステップに進むために安心できる一時的な滞在場所（ホテル）を提供する。

③生理用品の無料配布（予算額：4,402千円）

生活困窮などの理由から生理用品の利用に制限を受けている方を支援し、また、相談機関へのつながりをつくる機会とするため、相談機関の情報を同封した生理用品を配布。

④学び直しプログラム提供事業（予算額：1,750千円）

10代の頃に学びの経験や機会が得られないなどにより、就業や日常生活に影響を受けている女性に対し、キャリアカウンセリングと伴走型の学習支援を行う。

(2) 困難な状況にある若年女性への啓発事業（予算額：270千円）

マンガを用いて困難事例を分かりやすく伝える取り組みを実施。

(3) 困難を抱える女性に向けたアウトリーチ型相談支援事業（予算額：5,166千円）

様々な困難を抱えた若年女性を主な対象とし、相談や支援につなげるためのアウトリーチ支援を行う。